

北海道教育委員会教育長 様

北海道八雲高等学校長 円 山 健 一

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 生命尊重や人権擁護の精神のもと、生徒の心の琴線に触れる教育を推進する学校 |
| 2 | 生徒一人ひとりの学力向上を目指し、主体的でより高い資質・能力を育成する学校 |
| 3 | 保護者の期待に応え、生徒が希望する進路を実現する学校 |
| 4 | 保護者や地域から信頼され、生徒にとって魅力ある居心地のよい学校 |
| 5 | 職員が協働意識を持って仕事に取り組み、強みを生かし合う学校 |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
総務	<ul style="list-style-type: none"> 校務DX化を進め、教育活動や校務運営の円滑化・効率化を図った。 学校説明会の内容を変更し、中学生により高校生活をイメージさせることができ、好評であった。生徒減少の現状を踏まえ、近隣の中学校や外部にアピールする必要がある。 学校ホームページの充実化を図った。タイムリーかつ生徒の学校での様子を適切に情報発信できた。 	<ul style="list-style-type: none"> さらに校務DXを進め、教育活動や校務運営の円滑化・効率化を図り、生徒と関わる時間を増やしてほしい。 小中学校と連携を図り、学校をアピールする機会を増やしていただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動が地域や保護者に円滑に発信されるよう、広報体制の一層の充実を図る。 校務DX化をより一層進め、校務の効率化を図り、質の高い教育の実現につなげる。 	
教務	<ul style="list-style-type: none"> 外部に公開した授業公開週間や授業評価アンケートを実施することができた。 単元配列表の作成に着手することができたが、学校教育目標と教育活動とのつながりを深めるため、「身に付けさせたい力」のキーワード化が求められる。 ICT機器を活用した取組を教員間で共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業公開週間や授業評価アンケートの実施については評価できる。より多くの方々に授業を見ていただけるようなPRも必要。 教員と生徒、教員、地域を「つなぐ」ことをキーワードとした取組は大変よかった。今後、地域から学校へ提案し、協働していきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修を深め、授業改善や身に付けさせたい力の共通理解を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> よい人間関係を築くことが苦手な生徒が多くいるため、学校をあげて望ましい人間関係づくりの活動が必要である。 巡回等で、生徒とコミュニケーションを取る機会を増やした。 既成の枠に収まったネットパトロールや各種講演会ではなく、他機関への依頼や演習を取り入れ、内容等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化が進むにつれて、スマートフォンや情報リテラシーの指導が必要になっている。継続して指導していただきたい。 校則の見直しについて、生徒の主体的な活動になるよう取り組んでいただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルスキルトレーニングの充実を図る。いじめ防止の取組を継続するとともに、今後もSNSに関する指導とトラブルの未然防止への対応を組織的かつ粘り強く実施する。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導に係るLHRの時間が十分ではなかった。地域の協力で行ったキャリア教育は充実した取り組みであった。 進路指導部と学年が連携を図り、多くの生徒が進路決定をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 合同企業説明会は、町内21事業所に来ていただいた。次年度も多くの企業に来ていただくが、全学年を対象に実施していただきたい。 進学する生徒にも、キャリア教育を充実させていただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の希望進路の決定を目指し、LHRでの全体指導を元に今後もガイダンス機能を充実させ、一人ひとりの進路希望に合った指導を展開していく。 八雲町合同企業説明会の拡充 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業からの求人に見られるように、八雲高校の教育、生徒の資質に一定の評価と期待を得ている。教科のみならず総合的人間力を育むことができるよう、探究的な学びを地域と連携して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動などで学校が求めていることを地域に発信し、地域と連携していく必要がある。 学校運営協議会として、より一層活動を支援していきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を活かした地域への発信 道教委「実社会・実社会・実生活と結び付いた課題設定」支援プロジェクトで実施する「合同説明会」を利用し、探究活動について地域の理解を深め、連携を図る。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> P T A総会での説明 学校ホームページへの掲載 	